



発行 宮崎県立高鍋高等学校 同窓会

宮崎県児湯郡高鍋町 大字北高鍋4262 TEL 0983・23・0005 FAX 0983・23・5096 URL http://www.narumigaoka.jp/

# 同窓生の皆様へ

高鍋高等学校同窓会「鳴海ヶ丘会」会長 増田 秀文



「鳴海ヶ丘会」会員の皆様方には、おかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また常日頃より、同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成29年、恒例のOB祭は「楽しむ」をテーマに林健太郎実行委員長のもと平成6年卒業の皆様が担当していただき、OB祭ゴルフコンペ、「鳴海ヶ丘会」総会、OB祭が開催されました。

ゴルフコンペには200人近い参加を頂き、また総会では少ない出席ではありましたが、多くのご意見を賜り今後の同窓会のあり方を考えさせられるものでありました。またOB祭では在校生の参加もあり、ゴルフ松本氏の「命の授業」はお笑い芸人らしく笑いを交えつつも魂のこもったものでした。また懇親会も盛大に開催され、素晴らしいOB祭となりました。実行委員会の皆様改めて感謝申し上げます。

「明倫奨学生」も今年度6人が誕生いたしました。この「明倫奨学金制度」は多くの同窓生の皆様から頂いた寄付をもとに、運営をいたしてありますが、更にこの基金を活用して難関大学への合格者に一時金を支給する「特別奨学金制度」も今後進めていきたいと考えています。

現在高鍋高校生の難関とされる大学への進学者が少なくなり、文武両道を掲げる高鍋高校生にそれらの大学への進学意欲をかりたて、一つの手段となればよいと考えています。また高鍋高校への進学者が少なくなつた背景には少子化はもちろんでありますが、他高校への進学者が多くなつていることも事実です。

## 平成30年度高鍋高校OB祭実行委員会役員名簿

番号	役職	氏名
1	実行委員長	岡本 啓二
2	副実行委員長	新名 亮
3	事務局	児玉 直弘
4	事業推進局長	齋田 貴史
5	事業運営局長	稲田 崇
6	会計部会長	日高 真理子
7	総務部会長	中竹 寿文
8	クラス役員部会長	宮越 直正
9	販売部会長	税田 賢司
10	広報部会長	北村 あずさ
11	企画運営部会長	岩野 辰也
12	ゴルフ部会長	下田 敦久
13	懇親部会長	金丸 和史

多くの中学生が地元の高鍋高校へ目を向け、そしてまた他の地区からの中学生が高鍋高校を目指してもらえる、そんな魅力のある高鍋高校でもあつて欲しいと願っています。私共は高鍋高校が更に発展するよう側面から応援をしたいと考えています。そして高鍋高校の伝統を大切に守り、誇りをもって次世代へ引き継いでいかなければなりません。

これからの同窓会会員の親睦はもとより、学校、地域に役立つ同窓会として活動してまいりたいと考えています。

同窓会会員の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

## 平成30年度OB祭について

平成30年度OB祭を担当します平成7年卒業生を代表し一言ご挨拶申し上げます。私たちが、昨年6月に準備委員会を発足し、組織体制等について協議を重ね、昨年9月に実行委員会を正式に設立いたしました。その後、名古屋・福岡・宮崎・川南各支部における総会等に出席させていただきました。高鍋高校の歴史や先輩方の絆の深さに感銘を受けたところです。

さて、私たちは、1月に同窓会を開催しまして、当時の先生方や久しぶりに会う同窓生と楽しいひとときを過ごすことができました。同窓生の温かさを感じるとともに、同じ時間を共に過ごした仲間と集まることで、OB祭という目標について意識が高揚することができたと感じているところです。

私たちのテーマは「結ぶますぶつながら ひろがる未来」です。伝統ある高鍋高校OB祭を成功させるため、より良い未来へ広げていくためにも、私たちが同窓生一同は、個々の情熱を結集して、精一杯取り組んでまいります。

今後とも、一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 支部総会報告

## 福岡支部総会報告

福岡支部事務局長 原 誠子

福岡支部総会は昨年の11月25日(土)に西鉄インホテル福岡、レストランBLOSSOで開催しました。総会の冒頭に来賓挨拶として橋口副会長、児玉校長、猪股事務局長より鳴海ヶ丘会や母校の現状についてお話をいただきました。

総会では支部活動報告・会計報告・監査報告等を行い、満場一致で承認を得ました。総会終了後は懇親会へと移りまして、皆で近況を語り合い和やかな時間を共有出来ました。今回の総会出席者は39名で、前回に比べ減少してしまいました。福岡支部役員でも、いろいろと工夫等はしているのですが、若い世代の会員出席数が頭打ち状態となっています。

ただ、懇親会は大いに盛り上がり話にも花が咲き、皆様のほじけるような笑顔を見ることができました。後半はくじ引きにて、参加して下さった方々に賞品をお配りしました。笑い声が続きながら時間を惜しみつつ、最後は全員で校歌および応援歌を力強く歌い無事に閉会しました。



## 名古屋支部総会報告

名古屋支部支部長 福本 秀和

平成29年度の名古屋支部総会を、11月11日アパホテル名古屋栄店1階「ステーキ&ハンバーグ」に30名参加で行いました。当日は高鍋より増田鳴海ヶ丘会会長・児玉校長・猪股事務局長・OB祭実行委員の方々はじめ、在京・関西からご出席いただきました。

来賓挨拶では、学校再編統合や明倫奨学金の状況、またラグビー部をはじめ各体育部や文化部の活躍等についての報告が、また支部の活動報告では、毎年恒例となりまして名城公園での家族ぐるみのお花見パーティー実施等についての報告がされました。

懇親会では、OB祭実行委員の方々から、「楽しむ」の今年の反省と、来年度の活動について、意欲的な発表がありました。二次会会場所を移し、霧島酒造提供の焼酎を頂きながら、OB祭実行委員の活躍のもと遅くまで語り合いを続けることが出来ました。ご参加頂きました皆様のご協力・ご厚情に感謝致します。



## 宮崎地区支部合同同窓会報告

宮崎地区支部部長 緒方 克則

宮崎地区は、宮崎地区支部(緒方克則支部長、宮崎県庁支部(野口和彦支部長、宮崎市役所支部(河野作男支部長)が合同で母校の支援と卒業生相互の世代を超えた交流、情報交換等を目的に、平成19年から宮崎地区支部合同同窓会を開催しています。また、寄付金募集など母校の支援事業に取り組み、実績を上げてきました。

宮崎地区同窓会は、平成29年11月17日(金)ニューエルシティ宮崎で合計約100名が参加して開催しました。来賓として増田同窓会長・児玉校長、猪股同窓会事務局長にご出席をいただき、挨拶や学校紹介DVDで母校の現状や課題等を詳しくご説明いただき、出席者は、母校の取り組みや生徒達の躍動する姿を見ながら在りし日の自分にかえり思いお話を花を咲かせる楽しいひとときを過ごしていました。

また、例年どおりOB祭実行委員会の新旧委員にも多数出席していただき、各テーブルを回って今年のOB祭の報告と来年の取り組みをアピールするなど大いに会を盛り上げてくれました。



## 川南支部総会報告

川南支部部長 宮崎 吉敏

平成30年1月27日支部交流会をブライダルホール竹乃屋において、18時より、ご来賓に川南町長日高昭彦氏、会長増田秀文氏、高鍋高校校長児玉康裕氏、鳴海ヶ丘会事務局長猪股司氏をお迎えし総勢66名の出席者で盛況に開催致しました。

開会にあたり私より、地域を愛する、地域の将来を担う若者を育てることが一番大事なことであり、その為には更なる地域の皆様のご協力、ご支援をお願い致したいと挨拶、次に川南町長日高昭彦氏が高校への思いを、又、鳴海ヶ丘会会長増田秀文氏より、母校へのご支援への感謝とお礼を述べられ、明倫奨学金の新たな取り組みについての説明とご支援のお願いがありました。学校長児玉康裕氏より「高鍋高校ここにあり」の思いを、宮崎大学と共同で学習の在り方を研究する協働プロジェクトに取り組んでいることの報告がありました。又、猪股司事務局長より、各支部の報告を頂きました。

支部から増田会長へ明倫奨学金寄付5万円の贈呈を行いました。川上昇町議会議長の乾杯により楽しい交流がスタート致しました。杯を深め、高校への思いを語る交流を深め、本年度OB祭実行委員林健太郎君からお礼の言葉を又、次年度OB祭副委員長の新名亮君より、決意表明とご協力をお願いがありました。皆で楽しいひとときを過ごしながら、最後に校歌を全員で合唱し、飛高明先輩の万歳三唱にてお開き致しました。



部活動実績

Table with 7 columns: 大会名, 競技・部名, 競技種目, 成績, 学年, 氏名, 上位大会. Rows include various sports events like rugby, volleyball, and cultural activities.

「全国大会を終えて」

女子ホッケー部 監督 高木 美里

「全国大会出場」を目標に、日々練習に励む選手の夢が叶い七年振りにその切符を手にする事ができました。九州大会で、今年度、国体に出場し、開催県である長崎県立川棚高校に初戦で勝利を収めたことが、全国へ繋がる結果となりました。

一回戦、名古屋商業高校に二対一、SO戦0-2で負けてしまいました。全員初めての舞台上で堂々と戦うことができた。チームとして大きく成長することができました。今回、たくさんの方々からの支援を受け、現地へは関西OB会の方々が応援にも駆けつけてくださり、伝統校の偉大さを実感しました。高鍋高校の歴史に名を残す部となるよう、感謝の気持ちを持って、今後も尚一層努力していきたいです。



「ビブリオバトル全国大会を終えて」

2015 岩村 柚希

登校中、朝課外前、休み時間に放課後と、時間をみつけては練習をし、全国大会に備えていました。が、やはり全国はレベルが高く、あえなく予選敗退となってしまう。他のバトラーのプレゼンは、強く引き込まれるものがあり、五分間がとて短く感じるものばかりでした。大会が終わった後の懇親会でも本の話題がひっきりなしに飛びかっっており、本当に皆、本が好きなのだと感じました。

今回、惜しくも優勝することはできませんでしたが、たくさんの方に、本を紹介し、魅力を伝えることができ、とても良かったです。また、本が好きな仲間達との出会いという、一生の宝物を手に入れ、私の本好きに磨きがかかりました。



「全国大会を終えて」

ラグビー部監督 檜室 秀幸

県予選では大会無失点で優勝し、今年のチームは全国でも上位に食い込む可能性を充分秘めていました。1回戦の相手は関東の強豪校でしたが、素晴らしい立ち上がりで完全に圧倒していました。でも勝負は時の運。前半の途中で流れが180度変わり、金星をあげることは出来ませんでした。全国大会で勝ち上がっていくことの難しさを痛感しました。大事なものは、この悔しい敗戦から何を学ぶのかだと思えます。その答えを探す為に新チームは今まで以上に規律を重んじ挑戦を始めています。全国で勝てる力と運を引き寄せる為に精進していきます。高鍋高校の名を全国に轟かせることが出来るようこれからもひたむきに取り組んで行きたいと思えます。



事務局からの連絡

同窓会育英会会長賞表彰者

- 普通科 藤嶋 海斗(301) 黒木 梨帆(304) 山下 昌幸(306) 生活情報科 田中 佑姫乃(307) おめでとうございます。これからもますます頑張ってください。

明倫奨学金報告とお礼について

同窓会事務局長 猪股 司 明倫奨学金に多くの有志の方々より寄付を賜り、誠にありがとうございます。この奨学金制度は皆様の寄付金によって賄われております。どうか今後とも変わらぬ御支援のほどお願い申し上げます。

平成29年度明倫奨学金寄付者

(平成29年4月以降) 平成29年度OB祭実行委員会 川南支部同窓会 高鍋高校関西同窓会 敬称略

なんきんはぜ

みなさんにはお気に入りの風景はありますか？ 私にはこの高鍋に好きな風景が2カ所あります。1カ所は高鍋高校の理科棟3階から見る尾鈴山です。9年前母校高鍋高校に赴任したときに高校時代の恩師からこの場所を教えていただきました。ここから雄大な尾鈴山を見ていると、自分の心も大きくなるような気がします。

もう1カ所は高鍋大師から見る高鍋の町です。この場所は昨年部活の指導中に見つけました。正確には、一緒に部活に付いてきた小学生の息子が見つけた。「わーすごい！」という息子の声に振り返って見ると眼下に高鍋の町並みと海が広がっていました。

石井十次先生の「帰国途上の所感」の一節に「爾高鍋よ 爾は予が 理想的人物を養成するに於いて 最も適當のところなり アア美なるかな尾鈴山 アア壮なるかな太平洋」とありますが、本当に高鍋は自然の豊かな所だと思えます。山があり、河があり、海がある。こんな町は全国でも数少ないと思えます。

明日は第70回卒業式です。258名の生徒達が高鍋高校を巣立っていきます。県外へ進学・就職していく生徒も大勢います。卒業生のみなさん「御卒業おめでとうございます。そして、いつまでも高鍋高校のことを忘れないでください。」 (猪股)

